



迎春 2022年

明けましておめでとうございます。
皆さま方のご健康と安全をお祈りいたします。
本年も連合地協運動・活動への力合わせをお願い申し上げます。



連合奈良新春旗開き

連合奈良の日(1月度)

左から高谷議長 西田会長
水野事務局長



1月5日18時から大和高田駅前に於いて、2022年のスタートとなる「連合奈良の日」が実施されました。連合奈良からは、西田一美会長、水野仁事務局長、山根惇副事務局長、中和地協からは高谷光一議長はじめ13名が参加しました。また、尾崎充

典県議、森川喜之元県議、西川繁和大和高田市議、筒井寛香芝市議らにも駆けつけて頂きました。

今回は、「そもそも労働組合って何なの？なんのための組織？」をテーマに街頭宣伝を展開しました。

労働組合は、働く人が集まって、自分たちの権利を守り、労働条件や職場環境を改善して、より働きがいのある職場にしていくための組織です。安心して働ける職場づくりには、不当解雇や不払い残業、セクハラ、パワハラなど、困ったときに力になれる労働組合が必要です。もちろんアルバイトなど、非正規雇用で働いている方でも労働組合はつくれます。

連合は、働く人たちが抱える問題や悩みに対する労働相談、職場の労働組合づくり、一人でも加入できる連合奈良ユニオンなどの取り組みを紹介し、「困ったときは連合へ」と訴えました。



1月7日10時30分より「連合奈良新春旗開き」がWEB開催されました。

西田会長は、新年あいさつで「①沖縄復帰50年の節目にあたる今年、沖縄の問題を日本全体の課題として、平和への思いを更に伝えるために取り組む ②2022 春季生活闘争に当たっては、賃金・労働条件改善の課題は労使関係によってなされるべきであり、未来づくりの『春闘』として積極的に取り組む ③先の総選挙の結果をふまえ、第26回参議院選挙は連合産別組織内候補の比例区全員当選、県選挙区での必勝を期して闘い抜き、参院でねじれをつくり政権交代につなげたい」「その他の課題も含め、ジェンダー平等、多様性推進を軸に『働くことを軸とする安心社会の実現』にむけ全力で取り組む」と述べました。

続いて来賓として馬淵澄夫衆議院議員(立憲民主党国対委員長)が挨拶され、コロナ禍の経済疲弊、格差の拡大の中で、政治勢力の結集をはかり、来る7月参議院選挙必勝に向けた闘いをすすめる決意を述べられました。(詳しくはYouTubeチャンネルで)



新年度より中和地協事務局長に 竹平 均が就任致しました。宜しくお願いします。

